



2021年1月4日

各 位

会 社 名 ペプチドリーム株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 リード・パトリック  
(コード番号：4587 東証第一部)  
問い合わせ先 IR 広報部長 岩田 俊幸  
電 話 番 号 ( 0 4 4 ) 2 2 3 - 6 6 1 2

## 業績予想の上方修正に関するお知らせ

当社は、2020年12月期第4四半期会計期間（2020年10月1日～2020年12月31日）において、2020年2月13日に公表した2020年12月期の通期業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 2020年12月期通期業績予想の修正について（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	10,000百万円以上	5,300百万円以上	5,400百万円以上	4,000百万円以上
今回修正予想(B)	11,600百万円	6,700百万円	6,700百万円	4,200百万円
増減額(B-A)	1,600百万円	1,400百万円	1,300百万円	200百万円
増減率(%)	16.0%	26.4%	24.1%	5.0%
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	1,037百万円	△887百万円	△706百万円	△488百万円

※2019年12月期は決算期変更の経過期間となることから、2019年7月1日から2019年12月31日までの6ヶ月間を対象とした決算となっております。

### 2. 修正の理由

2020年12月期におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響があったものの、PDC (Peptide Drug Conjugate) に関する新規ライセンス等、活発な事業開発活動に基づく業績の着実な積み上げの結果、売上高は2020年2月に発表した期初予想を約16%上回る見通しです。また、利益に関しても、本日開示の「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載の通り、当社が保有する固定資産に係る減損損失の発生が見込まれる一方、売上構成の変化に伴う利益率の向上や各種コストの削減等の効果も見込まれることから、営業利益、経常利益、当期純利益すべての利益項目において、2020年2月に発表した期初予想を達成する見通しです。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上